

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和 5年 2月 28日

事業所名: 放課後等デイサービスあいの葉

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用者の状況により別室対応など行いながら支援している。	
	2	職員の配置数は適切であるか		○			・要件は満たしているが、個別での対応や年齢や特性に応じた支援の充実を図るためにも職員の補充が必要と感じ職員を募集している。また、職員の体調不良時などに人員補充の必要性を痛感している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				・興奮状態が収まらない利用者へ個別対応。他利用者に対しても集中できたり興味を示した活動を臨機応変に実施している。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			今後会議などで検討し改善に向けていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			・定期的なミーティングに統括が入り意見をいただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・個人の発達に合わせたツール作成の打ち合わせも含め、職員全員で誤行確認しながら取り組んでいる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・繰り返し行う内容にスモールステップを意識して取り入れながら計画をしている。利用者からの意見を取り入れて、次回活動に組み込む等意欲を持てるよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・午前、午後の活動や時間(途中で帰る等)に応じてプログラムを変化させている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・分担表等を作成しそれに基づいて各自実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				・下校時刻の重なりによる遅延など、事前に学校への連絡を行うとともに、毎週の遅延や保護者への確認を行い行き違い等が起こらないよう工夫している。時々下校時刻のずれがあり、他校への連絡対応が直前になってしまっていることがあり苦慮している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			・看護師による対応が必要な利用者がいないが受診医療機関への報告書など保護者を通じて行っている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○					
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・食の開催などは行っていないが、公共の施設(公園など)利用を増やし他者との交流のきっかけづくりや、公共のルールに慣れることを意識して行っている。	・室内環境や人数が多く集まる事での感染リスクを鑑み、野外での取り組みを考えていきたい。児童の発達段階や状況に配慮しながら計画していきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				・必要に応じて情報の提供、会議への参加をしている。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○					
保護者への 説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			・担当者会議等で利用児童と保護者の関係把握を行いながら必要に応じて助言アドバイスをしている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○					
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○					
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○			・未だコロナ感染の影響が色濃く実現に至っていないが、コロナ禍での開催の仕方について検討している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○					
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○					
	35 個人情報に十分注意しているか	○					
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○					
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○				

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)